



## ～中学部 2 年生修学旅行～

9月4日～6日、2泊3日で中学部2年生がシンガポールに行きました。「26StoriesinSingapore」をテーマに、26人の生徒一人一人が事前学習にも熱心に取り組みました。チャンギ国際空港に着いた後、まずマーライオンパークへ直行し、シンガポールのシンボルであるマーライオンを前に写真撮影、また、巨大なマリーナベイサンズに感嘆の声をあげました。その後、国立歴史博物館へ向かい、一人一人がタブレットを渡されてシンガポールの歴史・昔の人々の生活の様子を学ぶことができました。その日の夜はナイトサファリに行き、夜行性の動物の生態を観察しました。ナイトサファリは「世界初の夜だけ開園するサファリパーク」として、1994年に開園され、40haの広大な敷地に約130種、1000頭を超える夜行性の動物がいます。生徒はカメラのフラッシュを控えて、暗い照明の中で動物たちの自然な姿を熱心にとらえ、その中には絶滅危惧種もいるので「大切にしたいな」という声も聞かれました。



2日目の午前には生徒が最も楽しみにしていた現地校「Bedok South Secondary School」との交流でした。まず、現地校の生徒のリーダーの案内で、各班に分かれての校内見学に始まり、その後各クラスに入り、全教科、英語での授業を参観しました。この学校の生徒はインド、中国、マレーシア、シンガポールの出身で校内の共通言語が英語です。本校の生徒も英語の必然性、重要性が改めて実感できたようです。交流の時には日本の歌を紹介し、「先生に感謝する日」の式典にも参加しました。現地校では、先生に感謝の意を表して、スピーチをはじめ、ダンス、ライブ、パフォーマンスとどれも生徒が自主的に取り組み、会場は大いに盛り上がりました。その日の天候はあいにくの雨でしたが、チャイナタウンやセントーサ島では各班で協力して活動しました。夜のマリーナベイサンズでは、水と光と音の最高のハーモニーで繰り広げられる、Light & Water showにうっとり見とれました。3日目の午前にはココナッツの葉を編んでフラワーアレンジメントの体験をした後、埋め立て地に作られた新植物園に寄り、シンガポールを後にしました。

今回の修学旅行に向け、生徒たちが作成した「しおり」には「海外では文化や習慣が変わるので、それらに従い、学び、これからの生活に活かしていきましょう。」という実行委員長の言葉がありました。まさに異文化理解であり、シンガポールで生徒一人一人がそれを肌で実感したことと思います。